

鎌倉市平和推進事業

「憲法記念日のつどい」

日時:2011年5月3日(火・祝)

場所:鎌倉生涯学習センターホール

13:00開場 13:30開演 入場料:500円

(当日券あります)

映画上映「<sup>おか</sup>陸に上った軍艦」(2007年 95分)

講演 平形則安 本作品制作プロデューサー(45分予定)

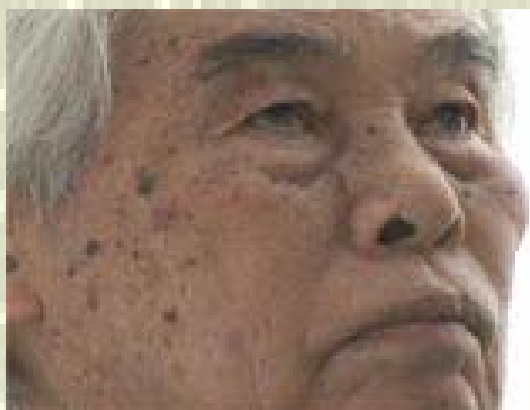
新藤兼人

言っておきたいことがある

95歳映画監督の証言

陸に上った軍艦  
オカニアガッタゲンカン

「どんな理由があろうと、  
いかなる正義があろうとも  
戦争はやってはいけません。」



©ピクチャーズネットワーク

原作・脚本:新藤兼人

監督:山本保博

制作:平形則安

出演:蟹江一平

滝藤賢一

加藤忍

語り:大竹しのぶ

証言:新藤兼人

チケット取り扱い・・・(4/15から販売)

◎島森書店鎌倉店 0467-22-0266

◎島森書店大船店 0467-46-3841

◎たらば書房 0467-22-2492

◎ビストロガレ 0467-25-2030

◎松林堂 0467-22-0846

◎鎌倉市文化推進課 0467-61-3872

主催:鎌倉市・鎌倉平和推進実行委員会

お問い合わせ:鎌倉市文化推進課 TEL0467-61-3872

## ストーリー

1944年春、召集令状を受けて、32歳で広島県呉海浜団に新藤兼人は二等水兵として入隊した。彼が配属された先は宝塚海軍航空隊。すでに乗るべき艦艇は失われ、接收した宝塚歌劇場を軍艦として見立てた過酷でばかばかしさに溢れる訓練の日々が始まった。つい先日まで普通の市民として生活していた新藤たちを“立派な兵士”に上げるための訓練の日々はある日突然に終わりを告げることとなった。

## プロフィール

### 新藤 兼人(しんどう かねと)

1912年、広島県生まれ。1934年新興キネマ美術部に入る。溝口健二に師事。1944年松竹大船撮影所に移籍、吉村公三郎監督と組んだ「安城家の舞踏会」(1944)、「わが生涯の輝ける日」(1948)等が賞賛される。1950年松竹を退社、独立プロダクション・近代映画協会を吉村公三郎、絲屋寿雄らと設立。1951年「愛妻物語」で監督となる。同年「待ちぼうけの女」(1946)、「偽れる盛装」(1951)で脚本家として揺るぎない地位を確立。1960年「裸の島」でモスクワ国際映画祭グランプリ受賞。一躍、国際舞台に進出する。「ある映画監督の生涯／溝口健二の記録」(1975)は記録映画の傑作として絶賛された。1995年「午後の遺言状」は日本アカデミー賞最優秀監督賞をはじめあらゆる賞を独占。社会現象までを喚起。

執筆家としても多くの著作を発表、1997年文化功労者として顕彰をうける。2002年文化勲章受賞。最近作「生きたい」(1999 モスクワ国際映画祭グランプリ)、「三文役者」(2000)、「ふくろう」(2003)。2003年第25回モスクワ国際映画祭では、長年の映画祭への貢献ということで、特別賞を受賞。2011年夏には、「陸に上った軍艦」の中のエピソードの一つを取り上げて映画化した最新作「一枚のハガキ」が公開される予定。98歳を過ぎてなお映画への情熱を燃やし続けている。



### 平形 則安(ひらかた のりやす)

1955年群馬県生まれ。日本大学芸術学部在学中からフリーで映画の製作・上映に関わる。1978年、近代映画協会入社。プロデューサーとして新藤兼人監督作品、「NHKスペシャル」「ドキュメンタリー人間劇場」など映画・テレビ番組・ビデオ作品ほか、幅広いジャンルで映像制作に携わる。1999年、(有)ピクネット(現ピクチャーズネットワーク株)設立。映画のプロデュース作品は『生きたい』『ゼノかぎりなき愛に』『三文役者』等。



### …鎌倉平和推進実行委員会……

昭和33年(1958年)8月、鎌倉市は平和都市宣言を行いました。この宣言は市民有志が市議会議長に請願し、市議会が全会一致で採択し、市が宣言したものです。

平成7年、市民による実行委員会により戦後50周年記念事業が行われました。その翌年から公募による市民で構成された「鎌倉平和推進実行委員会」が発足。平和・人権などをテーマとした平和推進事業を企画し、市と協働で実施しています。これまでに、講演会やコンサート、映画上映会、平和バスツアーなどを催してまいりました。また、平成12年度から、市内の小・中学校へ「子どもたちと一緒に平和について考える事業」を出前するお手伝いもしています。これからも、市民の皆さんに楽しんでいただける企画に取り組んでいきます。